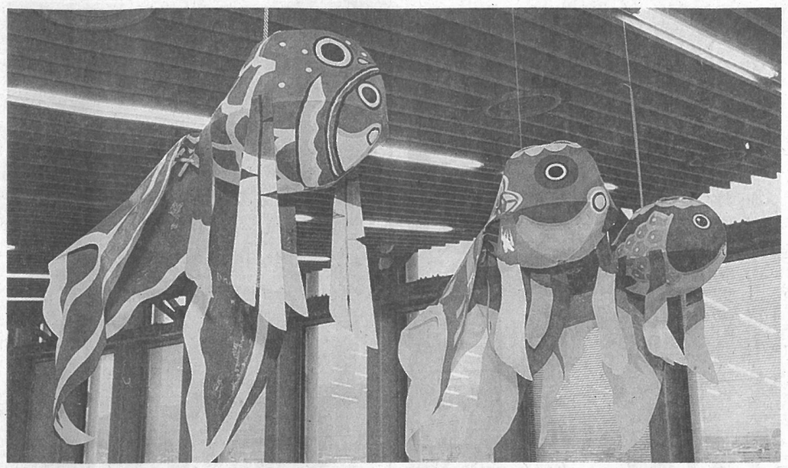
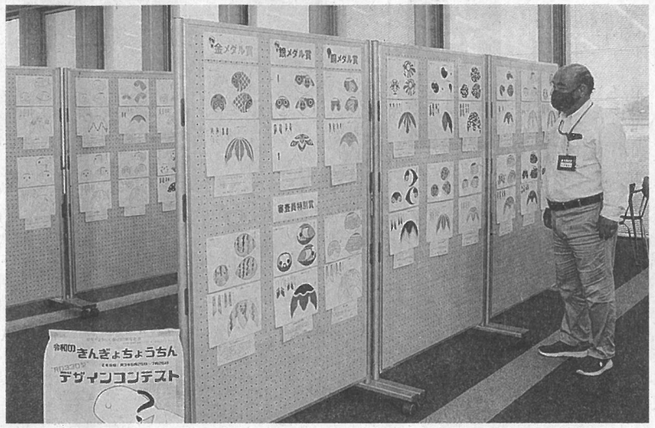
柳井日日新聞
(昭和36年5月8日第三種郵便物認可) 県政滝町クラブ加盟社

金メダル賞は熊谷さん

柳井市観光協会初企画 金魚ちょうちんデザインコンテスト

新型コロナの影響で中止となったが、柳井金魚ちょうちん祭りが今年で30年目を迎え、その記念企画として、柳井市観光協会(木阪泰之会長)が、地元の郷土民芸品である金魚ちょうちんを用いた初めてのデザインコンテスト「令和の金魚ちょうちん『R0330型』」を開催し、このほど入賞者を発表した。入賞作品を含めた全応募作品巡回展が、市内新庄のやまぐちフラワーランド(13～22日)と、市内古市のやない西蔵(23～30日)で開かれる。





・柳井金魚祭り30周年記念で開催
・県内外から70点応募、上位3賞決定
・フラワーとやない西蔵で応募作品点展示

この祭りは、金魚ちょうちんを「ふるさとの日」として設定し、「第1回金魚ちょうちんフェスタ」を開催したのが始まりで、今年が節目の30周年だった。しかし、コロナの影響で祭りは2年連続で中止になったが、金魚ちょうちんの歴史を振り返るとともに、「R0330型」(令和3年30周年の略)限定のデザインを募集し、全国に柳井市と金魚ちょうちんの新たな魅力を発信しようと、市白壁の町並みを守る会との共催で企画した。

コンテストでは、金魚ちょうちんのルーツである青森県弘前市の「金魚ねぷた」と柳井の「金魚ちょうちん」のつながり、歴史をイメージしたデザインを募集。期間は6月25日～7月26日)したところ、県内41人(うち、柳井市内34人)、県外15人(関東から九州までの10都府県)の合計56人から70点の作品が集まった。応募者の年齢は、4歳から61歳までだった。

応募作品は、用意された正面、側面・背面(尾)のフォーマットに、デジタルまたは手書き作品を、5色以内でデザインされており、厳正なる審査で、上位3賞(金・銀・銅メダル)と審査員特別賞3点を選出した。

そして、熊谷嘉晃さん(愛知県安城市)の作品「きぐるみねぷた金魚」が金メダルに輝いた。銀メダルは、りゅぴんどらさん(柳井市、ニックネーム)の「金魚ねぷた交流記念金魚ちょうちん」が、銅メダルは倉嶋雅子さん(柳井市)の「やない錦」だった。

審査員特別賞は、安岡千聖さん(柳井市)の「スイカ金魚ちょうちん」と杉原明菜さん(広島県廿日市市)の「北前船で新たな船出」、岩長美里さん(柳井市)の「優しい輪～」だった。

現在、開催中の巡回作品展では、全応募作品のデザインと上位3賞の作品を現物化して展示している。

(写真上は上位3賞を現物化した金魚ちょうちん＝左から、金・銀・銅メダルの順＝。下はやまぐちフラワーランドで開かれている巡回作品展)

今回のコンテスト開催について、木阪会長は「今回、県内外から70件の応募をいただき、感謝したい。金魚ちょうちんのルーツである青森県弘前市の金魚ねぷたや北前船の要素が盛り込まれた作品が多くあったことを喜んでいる。この規格をきっかけに柳井市が広く認知されたことをうれしく思い、今後も協会としては市民と共に金魚ちょうちんをPRしていきたい」と話していた。

地元商業施設に特大金魚

カワノ工業 31日まで、ゆめタウン柳井に展示

祭り中止受け、地元工芸品をPR

新型コロナウイルス感染症の影響で、柳井市最大の夏祭り「柳井金魚ちょうちん祭り」が2年連続で中止となる中、ショッピングセンター・ゆめタウン柳井(鼓克夫店長)＝市内南町4丁目＝には現在、山口県を代表する特産工芸品の特大金魚ちょうちんなどが展示され、来店者の注目を集めている。

この特大金魚を飾ったのは、柳井市宮本浜に本社を構えるコンクリート製品総合メーカー・リフォーム工事業の「カワノ工業」(河野和明社長)だ。同社は、金魚祭りのメインイベントである金魚ねぶたに毎回出演し、社員と家族が参加し、祭りを盛り上げているが、コロナ禍のため、2年連続で中止となったことを受け、会社でできる貢献活動として、特大金魚の展示を計画した。

近年、金魚ちょうちんは、国内外で大人気。おのだサンパーク(山陽小野田市)やアルパーク(広島市)、イオンモール大和郡山(奈良県)など、全国各地の商業施設や全国的な夏イベントに装飾されているが、本家本元である柳井市内の商業施設に飾られていないことから、同社の河野社長が、ゆめタウン柳井の鼓店長に相談し、装飾が実現したもの。

展示しているのは、同社が製作した全長1・8メートル(頭部の直径は1メートル)の特大金魚ちょうちん1匹と、柳井広域シルバー人材センターとNPO法人つばさ白壁作業所で製作された大中小3種類の金魚ちょうちん10匹を天井から吊して装飾している。

7月30日から、同店南側エスカレーター脇のイベント広場に飾られており、巨大金魚と一緒にスマホ撮影する来店者の姿があるという。展示期間は、8月31日まで。

(写真はゆめタウン柳井店内に飾られているカワノ工業提供の特大金魚ちょうちん)

やないファミサポ 第2回講習会開催

やないファミリー・サポート・センターの第2回講習会が9月15日(水)、10時から11時45分まで、柳井市総合福祉センター4階大ホールで行われる。

当日は、「乳幼児と児童に対する救急法指導とAEDの使い方」を学ぶ。講師は、柳井地区広域消防組合関係者。

参加費は100円。定員は10人(先着順、子供同伴可)。申し込みは、9月8日までに、同センター(☎0820・23・0668)まで。

しらかべ学遊館 将棋の基本学ぶ

柳井市古市、白壁の町並みにあるしらかべ学遊館では、放課後子ども教室「チャレンジし隊『めざせ！藤井聡太』」の参加者を募集している。

開催日は、9月4日(土)13時30分から2時間。場所は、市理科研修所(柳井小学校内)。内容は、将棋の基本を学び楽しむ。対象者は、小学生20人程度で、参加費は300円。

申し込み・問い合わせ先は、8月25日までにしらかべ学遊館(☎0820・22・4008)まで。

木造住宅の耐震相談会

柳井市では、木造住宅の無料耐震相談会を実施する。9時～11時30分、13時～16時30分(8月23～31日は火)、市役所2階市計画・建築課で。予約不要。

相談会では、建築士の耐震性に不安がある人や診断・改修を考えている人に、診断の流れ、注意点などをアドバイスする。

問い合わせ先は、市計画・建築課(☎0820・22・4008)、内線236・237)まで。

飲食店クラスター収束

柳井市と柳井料飲組合がメッセージ

柳井市の井原健太郎市長と山口県飲食業生活衛生同業組合柳井支部(岩本隆男支部長)は18日、市内のカラオケ付き飲食店で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことに伴うメッセージを発出した。

【市民の皆さまへ「市内カラオケ付き飲食店クラスターの収束に向けて】

新型コロナウイルスの感染防止対策につきましては、長期間にわたりご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

現在、新型コロナウイルス、特に変異株デルタ株による感染が全国的に急増しております。柳井市におきましても先日来、報道等おりますようオケ付き飲食店でクラスターが発生しました。感染された方々には、早い回復を心からお祈り申し上げます